

[成果情報名]トルコギキョウにおける「長崎型低コスト温度管理技術」を適用した3月出荷作型に適する品種(2013年度版)

[要約]「長崎型低コスト温度管理技術」を適用したトルコギキョウの3月出荷作型において、「M0-335」等の6品種は3月26日までの調査で採花率が79%以上となり、切り花品質も良好であり、本技術への新たな適合品種として選定する。

[キーワード]トルコギキョウ、3月出荷作型、品種、長崎型低コスト温度管理技術

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[代表連絡先]電話(代表)0957-26-3330(直通)0957-26-4326

[区分]花き

[分類]指導

[作成年度]2014年度

[背景・ねらい]

当センターでは、トルコギキョウ3~4月出荷作型において、県基準技術(10月上旬定植、25℃換気、加温機設定13℃)設定の累積採花率(3~4月に3~4輪開花で80%)を達成しながら燃油の節減を実現する「長崎型低コスト温度管理技術」(夜間の燃油使用量を県基準技術比約40%低減の試算)を確立した。また、本技術において採花時期や品質に問題が無い品種をこれまで38品種選定した(2011~2013年度ながさき普及技術情報)。

ここでは、(一社)日本種苗協会から受託した「第60回全日本花卉品種審査会トルコギキョウ(3月出し)」部門において、出品された30品種・系統を本技術で管理し、年間で最も単価が高い3月向けの出荷が可能な適合品種を新たに選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 1等特入賞の「M0-335」は、3月26日までに採花率が88%となり、葉先枯れの発生程度も軽微で、草丈、有効花蕾数、切り花重等の品質は良好である(表1)。
2. 2等入賞の「マナ」は、3月26日までに採花率が88%となり、葉先枯れの発生は無く、有効花蕾数、切り花重等の品質は良好であるが、草丈が67cmとやや低い(表1)。
3. 3等入賞の「ロジーナラベンダー」、「ソワレピンクフラッシュ」、「ソリールホワイト極早生」、「ココ」は、3月26日までに採花率がそれぞれ79%、100%、96%及び92%となり、葉先枯れの発生程度も軽微で、有効花蕾数、切り花重等の品質は良好である。しかし、「ソワレピンクフラッシュ」は草丈が71cmとわずかに低い(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 1等特入賞の「M0-335」は、現在、関係種苗会社において品種化準備中である。
2. 本試験は2区制で、A区(99㎡)、B区(77㎡)の2ヶ所のハウスで実施したものである。
3. 試験実施年の12月から3月の平年値に対する月毎の日平均気温の差と日照時間の割合は、12月-1.1℃・88%、1月0.8℃・151%、2月0.2℃・99%、3月1.0℃・118%であり、平年に比べ1月と3月で日照時間が多く、気温もわずかに高い気象条件である(長崎地方気象台)。
4. 標準品種の「ボレロホワイト」において、例年と異なり花芽の整理はしていないが、3月26日までに採花率83%、草丈98cmとなり、例年と同等の採花率及び切り花品質である。
5. 高昼温管理は、ハウス開閉の省力化のため自動換気装置設置のハウスで行うのが望ましい。

[具体的データ]

表1. 入賞品種の葉先枯れの発生状況及び開花特性

品種・系統 (等級/点数) (種苗会社)	花色 及び 特性	試験 区	葉先枯れ		主茎頂 花着花 節位 (節)	採花適期での調査							採花後調査	
			発生 株率 (%)	発生 程度		3月の累積採花率			草丈 (cm)	有効花蕾数			切花 重 (g)	莖径 (mm)
						上旬 (%)	中旬 (%)	下旬 (%)		開花 (個)	蕾大 (個)	蕾小 (個)		
MO-335 (1等特/84.19) (サカタのタネ)	ピュアホワイト 中早生	平均 A区	38 50	0.5 0.7	10.5 10.8	25 25	67 75	88 100	88 87	3.1 3.2	1.6 1.5	3.6 3.3	191 160	5.5 5.4
	大輪八重	B区	25	0.3	10.2	25	58	75	89	3.0	1.7	4.0	221	5.6
マナ (2等/81.38) (カネコ種苗)	濃ピンク(茶芯) 中早生 中大輪	平均 A区	0 0	0.0 0.0	10.7 11.6	29 17	67 58	88 83	67	3.0	0.8	4.0	120	4.7
	フリル八重	B区	0	0.0	9.8	42	75	92	67	3.1	0.6	3.4	137	5.3
ロジーナラベンダー (3等/79.81) (サカタのタネ)	ラベンダー 中生	平均 A区	0 0	0.0 0.0	9.5 9.8	33 17	58 42	79 75	72 71	3.1 3.0	0.5 0.7	3.0 3.1	159 135	5.8 5.2
	中輪八重	B区	0	0.0	9.2	50	75	83	72	3.2	0.3	2.9	184	6.4
ソワレピンクフラッシュ (3等/78.69) (ミヨシ)	桃掠り 早生	平均 A区	38 75	1.0 1.9	8.8 9.3	88 75	100 100	100 100	71 75	3.2 3.2	0.3 0.4	4.0 5.0	139 133	4.9 4.6
	八重	B区	0	0.0	8.2	100	100	100	67	3.3	0.3	2.9	145	5.2
ソリアルホワイト極早生 (3等/78.50) (ムラカミシード)	白色 極早生	平均 A区	13 25	0.1 0.3	8.7 8.7	67 75	96 92	96 92	77 75	3.2 3.2	0.3 0.4	4.8 4.8	150 135	5.0 4.8
	八重	B区	0	0.0	8.8	58	100	100	78	3.2	0.3	4.8	164	5.3
ココ (3等/78.31) (ミヨシ)	白色 中生	平均 A区	4 8	0.0 0.1	11.5 11.6	33 42	83 92	92 100	81 81	3.3 3.3	0.2 0.3	6.4 5.1	138 123	4.2 4.2
	八重	B区	0	0.0	11.3	25	75	83	81	3.3	0.3	5.1	153	4.2
ポレロホワイト (標準品種) (ミヨシ)	白色 中早生	平均 A区	0 0	0.0 0.0	12.1 12.3	21 25	63 75	83 92	98 92	3.0 3.0	0.6 0.5	5.4 5.6	189 152	4.9 4.5
	中輪八重	B区	0	0.0	12.0	17	50	75	103	3.0	0.7	5.2	227	5.3

注1) 審査会は3/20に開催。官公、各種苗会社及び種苗協会九州支部からの審査員で計18票。各審査員100点満点で採点。

注2) 各審査員はA区とB区をそれぞれ採点し、その平均点を提出。18票を集計し、平均点の順位を基に入賞を決定。

注3) 葉先枯れの発生状況と開花特性は、A区・B区とも12個体ずつを調査。

注4) 葉先枯れ発生株率は発生個体/12個体×100。程度は、0(無し)、1(葉先がわずかに枯れる)、3(葉先が枯れる)、5(草姿が乱れる)、10(生長点が壊死)で評価。12/17に調査。

注5) 採花適期での調査は3輪開花時に立毛状態で調査。草丈は有効花蕾の先端までの長さ。地元出荷組合の規格では2Lは草丈70cm、L65cm、「ロジーナラベンダー」のみ2L65cm、L60cm。蕾大は開花直前のもの、蕾小は蕾長2cm以上のもの。3/26で調査終了。このため3月下旬の累積採花率も3/26までのもの。

注6) 採花後調査は3輪開花達成個体を3/26に採花し調査。切花重は調整無しで測定。莖径は主茎頂花着花節位の直下で測定。

※耕種概要

播種	2013年7月26日 288穴セル成型トレイ	高屋温	10月5日-12月12日 40℃を保つ程度で換気
種子冷蔵	7月26日-8月26日 10℃設定	管理	12月12日以降は25℃で換気
育苗	8月26日-9月27日 23℃設定ヒートポンプ室	変温管理	11月4日-3月26日
	8月26日-9月13日 底面給水		9:00-日没時刻 加温機設定8℃
	9月27日-10月4日 開放ハウス		日没時刻-日没2時間後 15℃
有機物	たい肥2.4t/10a		日没2時間後-6:00 9℃
施用	ケイントップ(前作で通路に敷いたもの)0.8t/10a		6:00-9:00 10℃
施肥	元肥のみでN 4.0、P ₂ O ₅ 3.5、K ₂ O 3.5kg/10a	整枝	主茎頂花除去後枝が多い品種は4本/株に整理
定植	10月4日 10cm6目 4条植え 白黒マルチ被覆	花芽整理	無し
長日処理	10月5日-3月26日 夜明け前電照(4:00-7:00)	採花	3月26日に3輪開花株を採花し切花重・莖径調査

[その他]

研究課題名：第60回全日本花卉品種審査会(平成26年審査)トルコギキョウ(3月出し)における各品種の栽培特性確認

予算区分：受託研究事業

研究期間：2013年度

研究担当者：竹邊丞市